

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.9

TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社 北上工場

障がい者の方も現場の貴重な戦力
— 環境が整えばだれでも活躍できる —

磁性製品で世界をリードする総合電子部品メーカー「TDK」のグループ会社として2001年に操業。2024年4月には4階建ての新棟も稼働し、自動車に特化した高信頼の電子部品「積層セラミックコンデンサ」を世界に供給しています。

https://www.tdk.com/ja/tdk_electronics_factories/index.html

所在地：岩手県北上市和賀町後藤2地割106-163

障がい者の方も現場の貴重な戦力

— 環境が整えばだれでも活躍できる —

#機械に関わる仕事がしたい

#やりがいのある仕事

#安心して働ける環境

#戦力としての障がい者雇用

#障がい者のソフトボールチーム

#バリアフリーの部屋(寮)

#障がい者雇用推進員

#障がい者の定着



えんどう りゅうと
遠藤 瑠人(18)

勤続1年/
製造業務（アシスタント）

遠藤さん 高校のときにこの会社で実習して機械に関わる仕事がしたいと思ったのがきっかけでTDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社で働きたいと思いました。もともと機械を分解するのが好きで、ものづくりの仕事をしたかったんです。それに、他の会社より勤務時間が長くて、働きがいがあると思ったので選びました。今は製造ラインで基板を真空密封するWIPという工程の補助をやっています。勤務時間は朝8時30分から夕方5時まで、正社員として日勤で働いています。

成田さん 私も高校時代に2回実習をさせてもらいました。そのときに先輩たちが優しくて、働きやすい職場だなと感じたのでここに決めました。今は製造ラインで湿式バレルというチップを研磨する工程の補助を担当しています。私も遠藤さんと同じ勤務時間で働いています。

遠藤さん 今はやりたいと思っていた仕事を最初から最後まで任されているのでやりがいがあります。職場の人たちも優しくて、働きやすいです。お客さまが使うものなので、丁寧に仕事をするのを心掛けています。

なりた つばさ
成田 翼(19)

勤続1年/
製造業務（アシスタント）



成田さん 私も実習のときにいろんな作業を経験して、今の仕事が自分に合っていると感じます。空いている時間に職場の掃除もしていて「いつもキレイだね」と褒められるとそれもやりがいになっています。私は安全に仕事ができるように気を配ることも大事だと思っていて、作業の邪魔にならないように、掃除道具の置き場所にも気をつけています。

遠藤さん 職場は明るい雰囲気、先輩たちともコミュニケーションを取りながら働いています。

成田さん 仕事中はみんな集中していますが、時々話す機会もあって、私にも気さくに話しかけてくれるので、とてもいい職場だと思います。



成田さん 働く前に2～3週間の実習があって、不安や悩みなどは会社の人たちと話し合っ
てそこで解決できていたので、入社するときには不安はなかったです。

みなさん、私を社員のひとりとしてふつうに接してくれるので働きやすいです。

遠藤さん 僕も同じです。みなさん他の社員と同じようにふつうに接してくれるので働きやすいです。それに、この会社で働くのは機械を使ってものづくりができるので楽しいですね。それと、北上駅から送迎バスで通えるのも便利です。

成田さん みんなと同じように仕事ができ、先輩に褒められるのもうれしいです。働いたお金を自分の好きなことに使えるのもいいですね。それから、私は電車通勤なんですけど、大雨や強風で電車が遅れたとき、送迎バスに乘れなくなったことがありました。でも、会社に連絡したら先輩が迎えに来てくれて、とても助かりました。

自分で働いたお金は基本的には貯金しています。でも、親に生活費を渡したり、余裕があればゲームを買ったりもします。いずれはひとり暮らしをしたいので、そのためにしっかり貯金していきたいです。これからも職場をキレイに保ち続けたいですね。

遠藤さん 僕は障がい者のソフトボールチームに入っているの、グローブなどの道具を買ったりしています。それと、頑張って貯めたお金でついに自分の車を買いました！ちょっと高かったですけど（笑）。これからも働いて、欲しいものを買えるようにしたいです。





人事総務の
佐藤さん



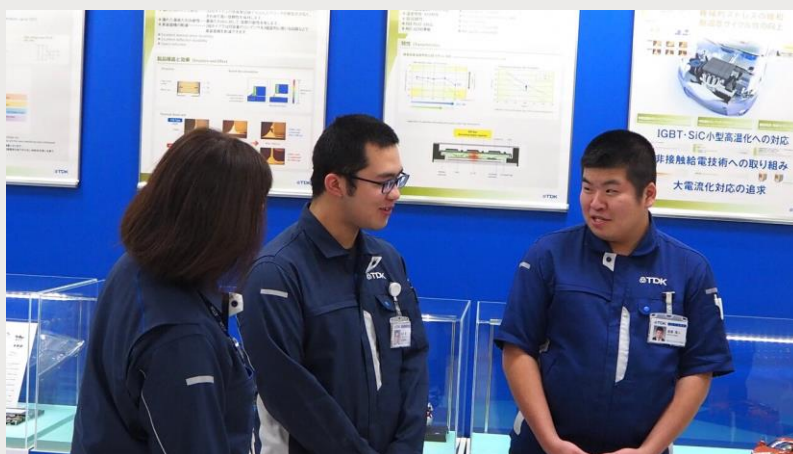
八重樫さん
にもお話
聞きました！

八重樫さん 遠藤さんは与えられた仕事をいつも丁寧に行うので周りからの信頼も厚いですし、笑顔がすごく印象的で、職場のみんなに愛されるマスコット的な存在です。障がい者のソフトボールチームに所属していて昨年全国大会に出場したときに現場の人全員はもちろん人事の私たちにもお土産を買ってきてくれたんです。そういうやさしさも遠藤さんの魅力だと思います。

佐藤さん 成田さんは責任感が強い方ですね。職場全体を見て率先して掃除をされていますし、他の人が見過ごしてしまうようなことにもいち早く気づいて周りの人が仕事しやすいように現場を整えたりしてくれるので、すごく助けられています。成田さんは「責任感」と同時に「面倒見」もよくて、成田さんの出身校の生徒が実習に来てくださったときも、自分の後輩だからと面倒を見てくれて私たちも非常に助かりました。それに、家族思いなところも成田さんの良さだと思います。

北上工場では、障害を持つ方が18名働いています。身体障がいの方が5名、知的障がいの方が4名、精神障がいの方が9名です。製造と製品の検査を行う品質保証、機械設備の保全を行う生産技術、人事総務などで働いています。

八重樫さん 私たちは障がい者の方も現場の貴重な戦力だと考えていて、性格や適性に合わせて配属先を決め、責任を持って働ける環境を整えることが重要だと考えています。入社前には実習を行いさまざまな仕事を体験していただいて、ひとりひとりに合った配属先で働けるように配慮しています。遠藤さんや成田さんはもちろん他の16名の障がい者の方たちも与えられた仕事に責任感を持って働いていただいているので、本人たちが責任感を持って働ける環境を整えることが定着につながるひとつの要因だと実感しています。また、入社後も障がい者のみなさんが働くうえで悩みごとを抱え込まないように定期的に面談を行い、悩み事があったらそれを早めにクリアして働きやすい環境を整えることを心掛けています。私たち北上工場でつくっているのは自動車部品メーカーさんや自動車メーカーさんに納品する非常に重要な電子部品です。障がい者のみなさんもその担い手のひとりとして貴重な人材となっていますので、これからもますます活躍していただいて、ボーナスもいっぱいもらって(笑)、それぞれの目標を叶えていっていただきたいと思っています。



佐藤さん 会社全体の取組みのひとつとして各現場に「障がい者雇用推進員」を配置し、障がい者のみなさんが現場で困りごとがあったらすぐに相談できるように配慮しています。また、「障がい者雇用推進員」は障がい者のみなさんが働く様子にも気を配っていて、働く環境に問題がないかを日頃からチェックして私たち人事総務とも情報共有する仕組みも整えています。

八重樫さん 障がいのある方たちと一緒に働くことで「いっしょにがんばろう」という雰囲気生まれている点が大きな変化ですね。「障がい者雇用推進員」が各現場に配属されたことによって、現場で働く人たちの障がい者に対する理解も高まりましたし、周りの協力の輪もひろがってそれが障がい者の方の定着にもつながっていると思います。

北上工場も2024年4月に新棟が稼働して、今後もたくさんの方を採用していく計画が進んでいますし、もちろん障がいをお持ちの方の採用も継続して行っていきます。北上工場では2024年10月に村崎野にフィットネスジムやレストランを併設した社員寮が完成しましたが、障がい者の方向けのバリアフリーの部屋も2部屋あります。さまざまな障がいを持った方が、それぞれの能力や適性に合わせて暮らし働ける環境を整備して、今後の採用と定着に結び付けていきたいと考えています。